

♡まとめ

引き出そう!子供の納得

子供自身が納得して、自らがまんをするよう、上手に話してあげたいですね。がまんする心が育つと、集団生活が楽しくなり、温かい気持ちも増えます。

教えて!ウエヤマ先生!!「認めて育つ自制心」

自分の欲求をコントロールする力、いわゆる自制心は、幼児期から児童期にかけて発達していきます。これは、成長とともに、他者の気持ちを理解したり、自分の気持ちを表現したりする力が育っていくことが関係しています。家庭や園生活を通して、自分と他者の折り合いをつける葛藤経験は、自制心が育つ機会です。順番を守ったり、相手に譲ったり、粘り強く取り組んだりする

ことが、子どもたちにとって心地よいと感じられる経験になることが必要です。子どもたちが自制できたとき、しっかりと大人がその姿を認めていくことが大切になります。



上山瑠津子 先生

福山市立大学教育学部児童教育学科 准教授/研究分野は、幼児教育学、発達心理学/保育者の専門性に関する研究を行っている。

先輩パパママ おすすめの本

ちよっとだけ



弟が生まれて、なっちゃんはお姉さんになりました。お母さんは赤ちゃんのお世話で忙しいので、いつもなっちゃんの要求に応えてあげるといふ訳にはいかなくなりました。そこで、なっちゃんはいろんなことを自分ひとりでやってみます。お姉さんになったからと頑張るなっちゃんですが、眠くなった時だけは、どうしてもお母さんに甘えたくります。お姉さんになったことで感じる切なさ、そしてそれを乗り越えることで成長していく子供の姿を母親の深い愛情とともに描いています。

下の子が生まれてお姉ちゃんになった娘に、この本を読み聞かせたときのことです。最後まで読み聞かせた後、「この子、○○ちゃんみたいだね」と一言だけ娘に伝えました。すると、これまで何でも私を頼っていた娘が、私が忙しい時には、自分でしようと頑張るようになりました。娘が成長したと感じ、うれしくなりました。

「ちよっとだけ」

瀧村有子 作
鈴木永子 絵
福音館書店

お家での子育てと教育をサポートします /
子育てのコツなどを見よう!

親子コミ ひろしま

検索



広島県の取組や家庭での過ごし方を掲載!

子育て・家庭教育 広島

検索



いろいろな場面をテーマに遊びや生活の中に
学びがあることをお伝えしていきます。



「遊び」のなかに 「学び」がいっぱい!



子供にとって 遊びや日々の生活の 全てが学びです!

「遊び」は子供にとって探究の宝庫。遊びの中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、失敗を乗り越えること、人と関わることが、主体的に学び続けることにつながります。



がまんの場面にも 「学び」がいっぱい!

子供同士のルール
『すべり台では順番に並ぼう!』



なんでダメなの!
早くすべりたい!

子供の納得を引き出すと
真のがまんに

急ブレーキ
その場でついつい怒ってしまうと
受け身のがまんに

ぬかしちゃダメでしょ!

- ・早くすべりたいよね!
- ・お友達が困った顔しているよ。どうしたらいいかな?
- ・順番を守ると、みんなが楽しく遊べるよ!

おおむね 3歳頃
真のがまんに身に付けるには…
遊びたい!という好奇心も受け入れて、どうしてがまんしないと
いけないのか、理由を伝えてあげるといいかもしれませんね。

感じる・気付く力
考える力
人とかわる力

おおむね 4~5歳頃

真のがまんに身に付けるには…
ここがどんな場所かを伝えて、相手や周りの人たちの
気持ちを考えさせてあげられるといいですね。

感じる・気付く力
うごく力
考える力

真のがまんが身に付いてくると…

『毎日水をあげて、
おいしい野菜を育てよう!』



急ブレーキ
お水をもらって
喜んでいるよ!

言われなくても
自分で決めたことを
しっかりやっているな!

面倒だと思わずに
毎日水やりがんばってる!

大きなあれ!

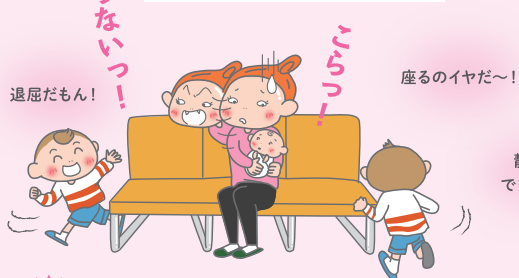
のひたね!
もっと大きく
なるかな?

おおむね 6歳頃
このような姿が見られたら、「自分で決めたことを毎日続けていて、
パパもママもうれしいよ」と話してみてください。

やりぬく力
人とかわる力

シーン2
病院の待合室で

社会のルール
『病院では静かにしよう!』



急ブレーキ
走らないっ!

『病院では静かにしよう!』

ゆっくりブレーキ
子供の納得を引き出すと
真のがまんに

お薬もらったら帰ろうね!
それまで静かに待とうね!

座るのイヤだ~!



急ブレーキ
その場でついつい怒ってしまうと
受け身のがまんに

急ブレーキ
静かにしなさい!!!

具合の悪い人がいるから、
静かにしようね



お出かけ前に
話しておくといいいね!

番外編

小学生になる頃には

ポイント
真のがまん = ゆっくりブレーキ

受け身のがまん = 急ブレーキ

なぜ今、がまんが必要なのか理由を言葉にして伝え、子供の納得を引き出すことで、急ブレーキではなく、ゆっくりとブレーキをかけてあげられるのが理想的ですね。

がまんばかりさせるのも、あまり良くないと言われています。必要ながまんかどうかを見極めて、子供に上手にがまんに教えてあげられるといいですね。